

給与所得者異動届出書の記載要領(記載例)

対象の年度に○をお願いいたします。

給与支払報告
特別徴収に係る給与所得者異動届出書

◎ 異動があった場合は、速やかに提出してください。

○【1月1日現在の住所】
1月1日現在の住所に変更がある場合は、
【異動後の住所】も記載してください。

○【特別徴収義務者指定番号】
事業所の「指定番号」を記載してください。
○【宛名番号】
異動者の「宛名番号」を記載してください。

年度		1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
所在地	〒○○○-×××× ××県△△市○○		特別徴収義務者指定番号	○○○○○
フリガナ	○○○○		宛名番号	△△△△△
氏名又は名称	株式会社○○○○		所属	給与担当
個人番号又は法人番号	××××××△△△△○○○○		氏名	山田 太
フリガナ	トサシミス タロウ	(ア) 特別徴収税額(年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額(ア)-(イ)
氏名	土佐清水 太郎	6月	8月	9月
生年月日	昭和○○年○月○日	月から	月まで	月から
個人番号	××××△△△△○○○○	8月	5月	2023年
*受給者番号		31日		1
1月1日現在の住所	××県△△市○○	120,000円	30,000円	90,000円
異動後の住所	同上			

○税額の記入方法
(ア) 特別徴収税額の通知書又は変更通知書に記載された特別徴収税額。
(イ) 徴収いただいた月割額の合計額。
(ウ) (ア)特別徴収税額から(イ)徴収済税額を差し引いた残額。
異動年月日・・・退職日をご記入ください。

法人番号		新しい勤務先へは、月割額 〇〇〇〇円を
担当者連絡	所属 氏名 電話	〇〇月分(翌月10日納入期限分)から徴収し、納入するよう連絡済みです。
*受給者番号		
納入書の要否(新規の場合のみ記載)	右から番号を記入	1. 必要 2. 不要

2. 一括徴収の場合	1. 異動が令和○年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額(上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、
				9月分(翌月10日納入期限分)で

<未徴収税額の徴収方法について>

○【1. 特別徴収継続】
未徴収税額の徴収方法について「特別徴収継続」となる場合、「1. 特別徴収継続の場合」に、新しい勤務先の名称・所在地を記入してください。その際、新しい勤務先に月割額を連絡されている場合、右隣の欄に税額と月を記入してください。

○【2. 一括徴収】
未徴収税額の徴収方法について「一括徴収」となる場合、「2. 一括徴収の場合」に、理由及び一括徴収予定額、一括徴収税額を何月分で納入されるか記入してください。

○【3. 普通徴収(本人納付)】
未徴収税額の徴収方法について「普通徴収(本人納付)」
「3. 普通徴収の場合」のうち、該当する数字を記入してください。

【注意】 1月1日～4月30日に退職する方に未徴収税額がある場合は、一括徴収することが義務付けられています。(地方税法第321条の5第2項)